

北区ビル火災を踏まえた避難対策強化事業（セルフ・レスキュー・コーチング）

対象者

市内の「**特定一階段等防火対象物**」（5,480件）の関係者（テナントのオーナー、従業員、利用者など）
（注）「特定一階段等防火対象物」：火災発生時に避難するための直通階段が一つしか設けられていない建物

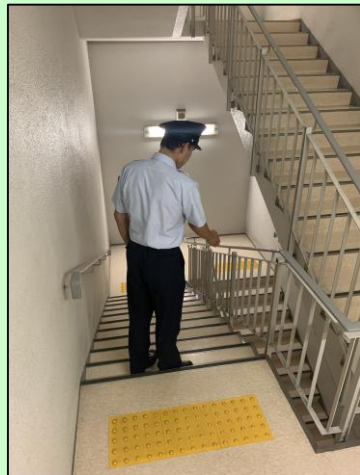
開始日

令和4年10月7日（金曜日）

全国に先駆けて実施！

①現況調査

対象物ごとに建物構造上の危険性や避難の困難性を調査し、危険度の判定を行う。



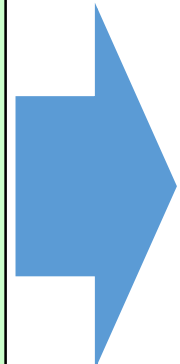
階段の確認



バルコニーの確認



屋内一時
退避場所の確認



②コーチング

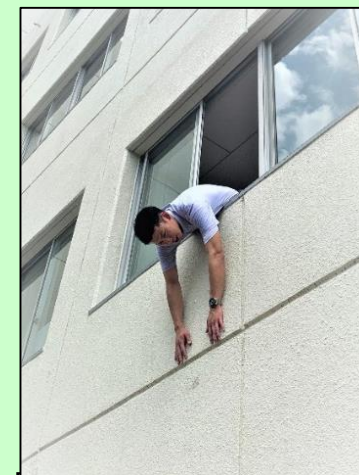
危険度判定結果から、それぞれの対象物に応じた具体的なセルフ・レスキューの知識や方策をコーチングする。



煙の流入防止



避難器具の
使用方法



外気呼吸の姿勢



ひさしへの避難



火災発生時に避難が困難な建物で勤務等していることを認識することで、**防火・防災意識の向上**を図る。

具体的なコーチングを行うことにより、火災への**初動対応能力を向上**させ、**自己及び利用者の救命**につなげる。